

GO bar ファームウェア更新内容

最新ファームウェアのダウンロードリンク：

https://enzofji.co.jp/iFi_FW/GO_bar_FW_v2.40.zip

※Windows 用/Mac 用それぞれのファームウェアファイルがダウンロードに含まれます。

最新ファームウェアでの更新内容

V2.40 / V2.4a 共通

1. USB の再接続後、フィルターの設定が保存されていない問題を修正しました。

フィルターを設定した後、再起動する前に USB を抜いて再度接続をすると、デバイスが前回のシャットダウン時のフィルターモードを記憶しない問題を修正しました。

2. 音量の同期設定を使用する際に、突然の音量スパイクを防ぐメカニズムを実装しました (Tidal の平均音量スイッチを無効にする必要があります)。

以前は Tidal で MQA を再生する場合(排他的に有効)、突然音量が急に大きくなることもありましたが、この最適化により Gold bar の同期音量が 90%を超える場合、最大レベルに達することなく音量を調整できます。90%未満の音量については、音量を同期して調整できます。

過去の更新内容

(最新のアップデートに以下のバージョンの更新内容も含まれます)

V2.20

1. 48kHz 系統の DSD ファイルの再生をサポート。

確認方法：HQ プレイヤー(規定の出力モードを SDM(DSD)に設定し、出力機器の設定で 48k DSD にチェックを入れる)にて、

「Output Device Settings—Bit rate」の項目は 48K x64, 48K x128, 48K x256 に設定してください。

2. 安全な音量を 70%に修正。

ボリュームシンクをオンにすると、初回接続後に GO bar のボリュームを読み込みます。

注意：安全な音量は Windows10 の場合 66%の表示に対応し、他のシステム、再生ソフトの音量カーブの違いにより、音量表示値も変化します。iOS: 再生ソフトを開いて通常の再生をする必要があります。

初回接続時は、GO bar が自動的に音量を 50%に調整します。Android: 音楽再生ソフトを開いて排他的に通常再生するよう設定する必要があります。初回接続時は、GO bar が自動的に音量を 50%に調整します。Win：GO bar の音量が $\geq 70\%$ の場合、自動的に 70%に調整され、70%以下には調整されません。

3. ボリュームシンク機能の既定音量を 50%に変更。

ファームウェアを V2.20/2.2A にアップデート後、GO bar の規定音量は 50%になります。

V2.2a

ミュートコントロールを変更し、トラック切り替え時のノイズを最適化(0 データを挿入する)。

V2.20：わずかなノイズ、"ポップ"音の発生と共にトラックが切り替わります。

V2.2A："ポップ"音がわずかに大きく聞こえますが、仕様の範疇とし、ミュートノイズはなくトラックを切り替えます。

V1.70

1. ボリュームシンク機能を最適化(xDSD Gryphon のボリュームシンクを参照してください)
2. ファームウェアを書き換えたあと、ボリュームシンク機能が記憶され動作しない問題を修正。
ファームウェア書き換えしたあと、ボリュームシンクをデフォルトでオフに変更(工場出荷時は、本機能はオフ)
- 3.GO bar のボリュームカーブを Windows システムに最適化(前ファームウェアバージョンの表示を 60% から 30% に、音量の範囲は変更のないまま、セキュリティボリューム表示を最適化。)
4. Tidal にて、再生したのち、突発的にヘッドフォン、イヤフォンから最大音量が強制的に有効になる問題を最適化。
Windows システムでは、突然音量を 100%に変更 (クリック) すると、GO bar のボリュームが画面上で動かない (音量同期機能を自動的に解除し、次に有効な音量変更となるように、音量同期機能を復元します)。手動で音量バーをドラッグすると、正常に変更することができます。

非 Windows システム (Android/iOS/MacOS) で音量を 30%に変更すると、GO bar の音量が移動しません (音量同期機能を自動的に解除し、次に有効な音量変更となるように、音量同期機能を復元します)。手動で音量バーをドラッグすると、正常に変更することができます。
5. 制限された OS システムは、HIDKEY を GO bar に積極的に送信せず、USB にアクセスするために初回時にセキュリティボリュームと同期ボリュームを有効にすることが出来ません。
iOS のボリュームを手動で変更するとセキュリティボリュームと同期ボリューム機能が動作します。
6. 最適化 : iOS (iPad/iPhone) システム、TIDAL での MQA オーディオ再生、単一の曲のループ、自動カットが時々出力されない問題を最適化。(トラックのプログレスバーは正常に動作)
7. PCM 再生時に MQA の LED 表示が消える問題を修正。(点灯前のフィルターのライトの色)
8. DSD ネイティブ再生の左右チャンネルの反転を修正。

V1.7a

1. ミュート操作を修正
スッチングノイズを最適化(0 データを転送している時はデータなし)
出荷時適応されているのは v1.70 となります。V1.7a は書き込みと経験・知識のあるユーザー向けです。
V1.70 と V1.7a はミュートの設定が異なること以外は同じ更新内容となります。

Windowsでの ファームウェアアップデート方法 v3

必須条件: 作業を行う前に、古いバージョンのiFi Windows用ドライバーを削除し、PCを再起動してください。iFi Windowsドライバーがダウンロードされ、Windowsマシンにインストールされていることを確認してください。
※最新のバージョンに関しましては、iFi audio日本語サイトをご確認ください。

アップデートの問題を防ぐため、以下の順序ですべての手順に従ってください。
ご使用のiFi audio製品とシリアル番号専用に設計されたファームウェアのみをご使用ください。

- <https://ifi-audio.jp/DL/driver.html>
(最新のWindows用ASIOドライバーを上記URLからダウンロード)

Windows USB Drivers v5.12

We have added a direct download button here.

Windows USB Drivers - v5.12

Update Log - Audio control interface for MIDI is optional & Bug fixes.

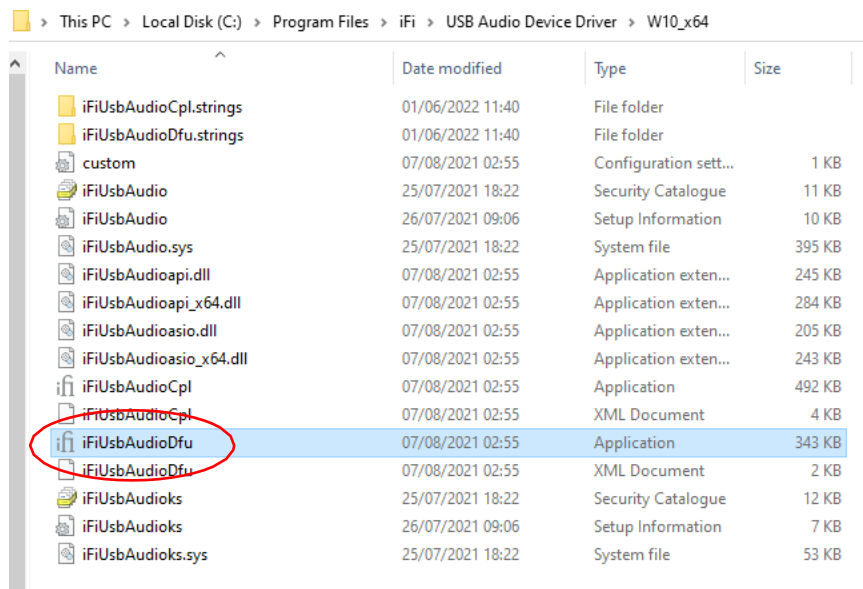
Please manually uninstall all previous XMOS drivers (XMOS, AMR, iFi or from other vendors). Reboot the computer before installing this latest driver. Depending on the computer hardware, you may have to reinstall the driver again if the USB port was changed.

- 事前にダウンロードしたファームウェアファイルが格納されたフォルダが確実に解凍されていることを確認してください。

Step 1:iFi のアップロード専用ソフトを開く

格納場所 C:/Program Files/iFi/USB Audio Device Driver/x64

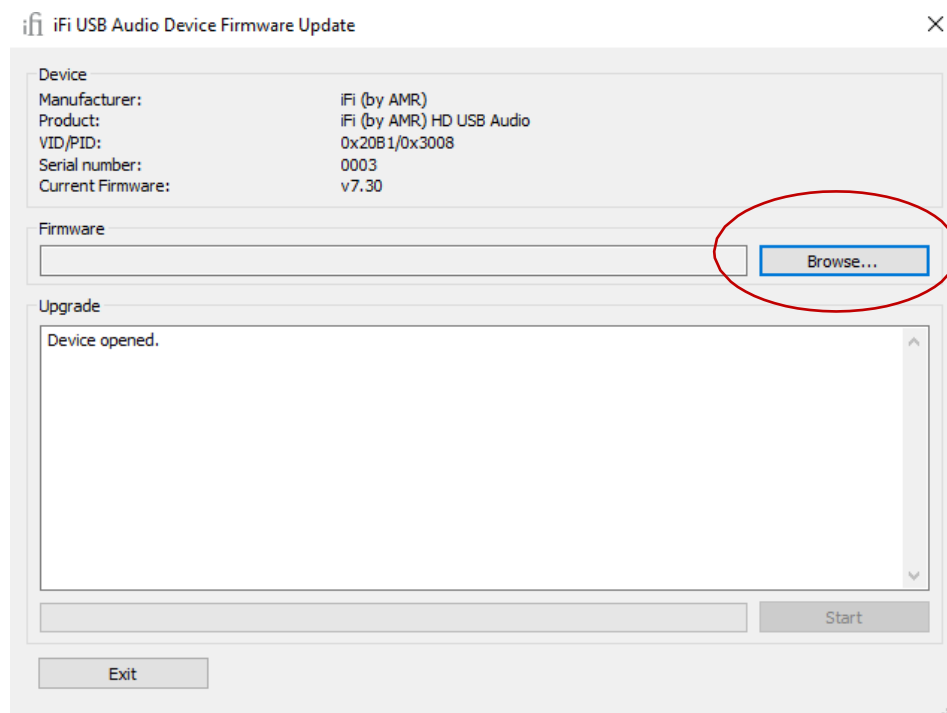
その中にある「iFiUsbAudio_dfu.exe」をダブルクリックし、ソフトを起動します。



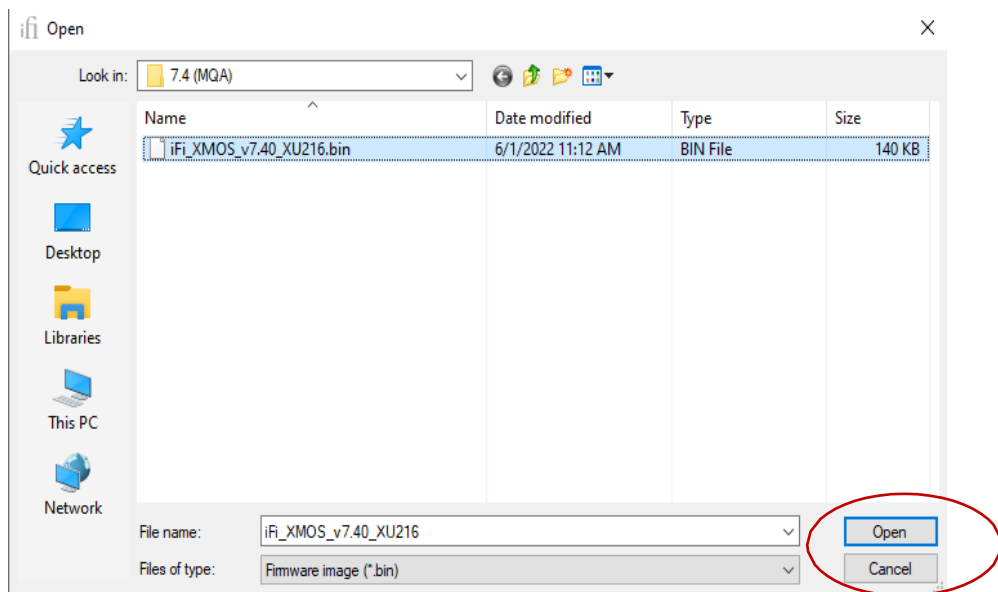
Step 2:ファームウェアをアップロードする機器を接続する。

ファームウェアファイルを読み込む:

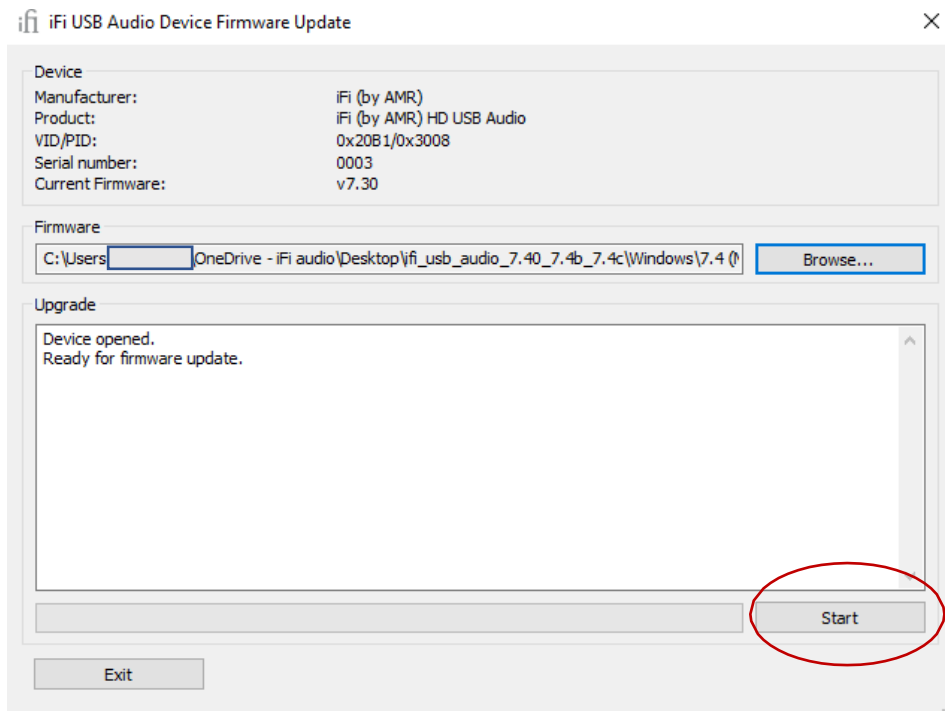
解凍したファームウェアを保存してある任意のフォルダまで進み、該当フォルダを開いてアップデートするバージョンのファイルを選択します。



Step 3: .bin拡張子のファイルを選択し、「開く」をクリックします。



Step 4: 「Start」をクリックすると、ファームウェアのアップデートが開始します。



Step 5: ファームウェアのアップグレードが正常に終了したら、「Exit」をクリックし、

アップデート完了です。

